

# News Letter

看護ケア推進委員会

Vol.20

2022.11

担当：堀井

## 胃ろう -日常ケアとトラブル対応-

### 胃瘻とは？

胃瘻とは、胃内と体外を結ぶ管状の交通路（瘻孔）をいいます。

胃瘻の造設を意味するgastrostomyは、ギリシャ語のgaster（胃）とstomoun（開口部または口を提供する）からなる合成語です。

胃瘻の多くは経腸栄養の経路として用いられ、主として自発的に摂食できない対象の栄養管理に用いられます。また、悪性腫瘍などによる幽門部・上部小腸閉塞例における減圧目的にも用いられます。



### 日常ケア



・**清潔第一！**胃ろう周囲についた汚れは暖かく湿らせたガーゼや綿棒できれいに拭き取りましょう。造設後の一定期間を除いて、基本的に消毒は不要です。

・胃ろうの清潔には、微温湯での洗浄も効果的です。石けんを使用する場合は皮膚にやさしい弱酸性のものを使用することをお勧めします。造設後の洗浄開始時期は担当医に確認してください。

・入浴やシャワーができる方は、胃ろう周囲をきれいに洗いましょう。保護は不要です。

・洗浄後は優しく拭き取り、水気を取り除きます。

・汚れが付着しやすい方はティッシュでこよりを作り、カテーテルに巻いて汚れや水気を吸収させます。こよりは1回/日かつ汚れていれば交換することをお勧めします。



・**バンパーの可動性を確認する！**バンパー式カテーテルは胃内のバンパーが胃壁に固定したままになると胃壁に埋没してしまうことがあります。

1日1回はカテーテルを**上下**、かつ**回転**させて動くかどうかを確認しましょう。

・バルーン型カテーテルは胃内バルーンの固定水がぬけていないか確認し、定期的に固定水を交換しましょう。

### 主なトラブル

#### 不良肉芽



・カテーテルが引っ張られたり、傾きにより瘻孔に負荷がかかっているか観察します。

・カテーテルの劣化や不潔な状況が長く続くことも原因になります。

・痛みや出血がない場合は、清潔を心がけます。特別な対処は不要なことが多いです。

#### 皮膚の発赤・びらん



・消化液や注入食の漏れによる刺激、カビなどの病原菌の感染が原因になります。

・胃ろう周囲をきれいに洗いましょう。消毒は不要です。

・洗浄後は優しく拭き取り、水気を取り除きます。

・撥水効果のある軟膏などで皮膚を保護する場合があります。清潔にしても改善しない場合はカビなど病原菌に対する治療が必要な場合もあるので医師に相談しましょう。

NPO法人PDNホームページより一部引用

\* 皮膚・排泄ケア認定看護師として瘻孔ケアを担っていますが、看護師特定行為研修修了後は、医師と胃ろうカテーテルの交換を行っています。

\* 2020年4月から担当医の不在により胃ろう回診は廃止となり、現在はトラブル等に応じて個別に対応しています。

\* 胃ろうケアでお困りのことがありましたらご連絡ください。

皮膚・排泄ケア特定認定看護師